二十六日夕刊

磐城毎日新聞

〇定價 一ヶ月 金六十錢
□郵稅 金十五錢
□一部賣 金三錢
□廣告料一行 金六十錢
□雜報欄 金九十錢
□場所指定一行 金一圓增
□電話（平）七八六番
□振替口座東京一〇八・五六五
福島縣平市田町十六番地
發行所 磐城毎日新聞社
發行編輯印刷人 森合英

科學に限らず學問上の論爭はもつと活潑にし公明なものにして行きたい（菅井準一）

閼伽井風

試練の洪水禍

武藏山人

洪水禍の余波を受けて平市内の水道が時間給水するやうになつた、水魔に襲はれて床上浸水を見た多くの家庭は濁水に汚れ切つた家屋の清洗も、汚れた衣類の洗濯も、身体を清める風呂も焚けず錢湯も休業だつたし罹災の人々には同情の言葉がない、然し今回の水道減水に對しては『困つた!!』と云ふ聲は耳にしたが、市當局を非難するやうな言行を見ないのは、天災に據ると〻あきらめたものと思ふが恂に悅ぶべきである、これが市當局の怠慢などに原因したとしたら恐らく大變な騷ぎと成つたかも知れぬ

警察官や警防團員等不眠不休の活動、區內會隣組員の焚出し救援など涙ぐましい努力の跡が見られ或る意味に於ては大きい試練ででもあつたこの心構へを忘れずガツチリスクラム組んで全市民は平和な營みが出來、一旦緩急の場合と雖も何等怖れることがないと思ふ、

最後に注意したいことは、或る隣組から運ばれた二斗余のおにぎりが、翌日の夕刻入れ者を受取りに行つた處、持つて行つた時のまゝ一つも手がつけられず區內會役宅にあつたとか、隨分水害の後始末に忙がしいまゝ失念してゐたか？乃至何等かの手違ひから取殘されてゐたものと思はれるが、運んだ隣組員の努力と、飯米節約を叫ばれてゐる際甚だ遺憾な事柄であつた、お互ひに注意したい。

それから悪いことは兎角重なるものであるから、水道の減水時には特に火の元用心が肝要である、警防團自体も水道に替るべき用水について調查研究を進め萬一に備へる心構へが望ましい、

我が國「武」の變遷

（十五）

山名隆之

時偶々外國勢力は漸次東洋進出の傾向を示し遂に我が邊海に迫る日は到來したのである旣に我が國は國を鎖してゐる。一旦事あるに及んで周章狼狽するは明らかであらう。かくて文化、文政の時わが國は南北にその脅威を受けたのである。即ち露國の南漸、英國の來使がそれである。恰も頭を叩かれ足を蹴られたにもひとしく、たゞ處置するすべもなかつたのである。ここに於て海防論は起つた。高野長英、渡邊華山らがその先鋒であつた。これより先、林子平もすでに文政の頃から熱心に海防を唱へてゐたが幕府は之を容赦なく罰して居つた。海防論は攘夷論に變化する。この急先鋒は水戸の德川齊昭をはじめ諸大名及び諸國の志士であつた、かゝる折嘉永六年ペルリの浦賀入港である。先きに頭を叩かれ足を蹴られてその傷手の未だ癒えざるに胸を打たれたのである。幕府の周章狼狽、國內の沸騰は實に名狀し難きものがあつた。かゝる折國內の士風は頽みに萎靡沈滯し幕府また事毎に弱体を暴露し殆ど失敗の連續であつた、こゝに於て幕府不信任の聲は頓みに高まつたかくの如き折幕府は極めて不徹底にして信念なき開港を敢てし安政假條約を締結したのである、

此處に於て俄然國內人心は幕府攻擊に轉じ攘夷運動は倒幕運動と結びついたのである。尊王運動が夙に幕府の存在を否定した事はいふまでもない、此處に於て更に尊王運動がそれに加はつたのである。かくして、尊王、攘夷倒幕運動てふ一大樞軸は結成せられたのである。一方に於てかくの如きであつてみれば幕府に於ても佐賀闘濺論が形成せられこの二大樞軸これは火達磨の如く幕末の時局を燒きつくさんとして一大闘爭の繪闘を操ひろげる、これが嘉永、安政、文久、元治、慶應の形勢である。遂にこの二大ブロツクは正面衝突をし轟然爆發するよと見せし時、德川慶喜が自ら火消役となり幕府の火達磨を一切解消雲散せしめて大團圓となつた德川幕府の大政奉還である。かくしてここに明治維新王政復古は實現する。實に慶應三年十月十日のことであつた。

家庭經濟と簡保

（七月十五日仙台遞信局發表）

これによると總死亡數に對する簡易保險加入者の死亡割合は次のやうになつて居り、その保險金は七百九十五萬余圓、一人當り二百七圓余に上り六縣下を通じ三萬八千の世帶、總死亡の二割五分五厘に當る數は簡易保險によつて補償され、保護されてゐることが判ります。

縣別	總死亡數	簡保加入者死亡數	割合
宮城縣	二三、四三九	六、〇〇二	二、五六
福島縣	三一、三三六	八、八〇三	二、八一
岩手縣	二四、三六六	五、〇五九	二、〇八
青森縣	二一、八四三	四、七八七	二、一九
山形縣	二四、三六六	六、四四〇	二、六四
秋田縣	二五、四〇一	七、三三一	二、八八
計	一五〇、七五一	三八、三九一	二、五五

更にこれを市町村別に分類して見ると次の通りで簡易保險に因る補償割合は其の普及率に比例して村よりも町、町よりも市の方が著しく高率となつてゐることが判ります、

△市町村別總死亡數に對する簡保加入者の死亡割合

縣別	市	町	村
宮城縣	四、〇八	二、四八	一、九三
福島縣	五、八三	二、〇七	二、三一
岩手縣	三、五一	二、一一	一、八六
青森縣	四、四八	一、九〇	一、五七
山形縣	四、三五	二、七六	二、一九
秋田縣	六、二七	二、六五	二、五〇
計	四、七七	二、五六	二、〇九

我が國で昔から冠婚葬祭等吉凶事に相當費用を掛ける風習があるのであるがそれ等の出來事が二三囘も續くと家庭經濟生活に破綻を來したといふ例が澤山あります、

新刊紹介

△日本の劍人　尾關龍介著　定價一圓五十錢　文英堂

△獄中の記　齊藤瀏著　定價一圓六十錢　南東堂

二、二六事件に關係した歌人にして陸軍少將なる著者の獄中記である、種々の意味で是非一讀して見る必要がある。特に若い先生に讀ましたい

渡邊の壯途を祝ひて

志田季雄氏

大君の御楯となりて召され征く晴れの首
途を祝ひまつらむ

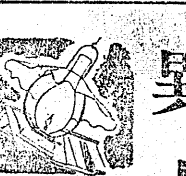
召され征く君が首途ぞ限りなき日本男子
の譽とぞ思ふ　糸子

ことあらば身を捧げむと宣へし雄々しき
姿仰ぐけふかな

本多忠綱氏

捧ぐべき時來れりといさみ立つ君の命よ
眞幸くあれ那し

吾が友と呼ばむはかしこ大君の御楯の召
しに今し立つきみ



異人劍法【39】

（禁無斷轉載上演上映）

平谷弘　下山望東畫

小梅浴衣（六）

『いくらだ』

と岩太郎はしぶ〱金を拂ひ乍ら、

『勘太、舟の仕度はいゝだらうな』

『へえ、もうちやアんと、裏口に用意が出來てをります。さつきから長吉の奴ア待ちかねて、きつとあくびをしてますぜ親分……』

『さうか』

と大きく頷いて、

『さア小梅、出掛けようか』

『あい』

小梅はすらりと立上ると、白い素足がよろめいた。

『まア危ない』

と淸香が支へて、

『大丈夫？姐さん…』

淸香は小梅のとろんとした瞳を不安さうに覗き込んだ。

（姐さんは知らないんだ、卑しい親分の企みが分らないんだ）

舟へ連れ出す魂膽が見えすいたものだけに淸香はただハラハラして、

『そんなに醉つて、もし海へ落ちでもしたら……』

『なアに落ちたら落ちたで、いつそさば〱するだらうさ、御心配にやア及ばないよ』

『でも……』

と更に目くばせしたが、小梅の醉態はまつたく手がつけられなかつた。

『淸香、手前は二階へ行つてろ』

岩太郎に睨みつけられて、淸香はふるへ上つてしまつた。

『さア巳之さん』

と小梅は微笑つて、

『お前さんも一緒に行から、舟遊びにつきあつておくれだらうねえ』

『いゝえ、とんでもない、私はもう……』

『逃げようたつて、逃がしやアしないよ。ねえ親分、一緒に連れてつたつて構はないわねえ、オヤ、何だい男の癖に尻込みをして、別に取つて喰はうと云やアしまいし、そんなにびく〱しなさんな』

とのばした手を、岩太郎はすばやくつかんで

『厭がるものは放つて置け』

苦々しげに巳之助を睨み乍ら、小梅の白い腕を小脇にかいこんで

『さア行かう』

『あれ、痛いぢやないか、無理にひつぱらなくたつて、今行かアね』

河岸へ出ると、入江のやうな港の空には、夕月がうかんでゐた。

薄絹のやうに透きとほつた靑さで、空は仄かに明るかつた。遠くの墨繪のやうに朧な岬も、波よけの燈明台の黄色い灯も、河岸倉の白壁も、みんなまるで夢の中の風景だつた。

河岸の亂杭を洗ふ川波にゆられ乍ら裏口にもやつてゐた小舟から船頭の長吉が立ち上つて、

『親分……』

『長吉か、賴むぜ』

小梅は舟へ抱きおろされると、そのまゝグツタリ醉ひ伏したやうに、膝を崩して舷にもたれた。涼しげな夜の小舟に、小梅の浴衣姿はふさはしかつた。つゞいてひらりと岩太郎が飛乘つた。

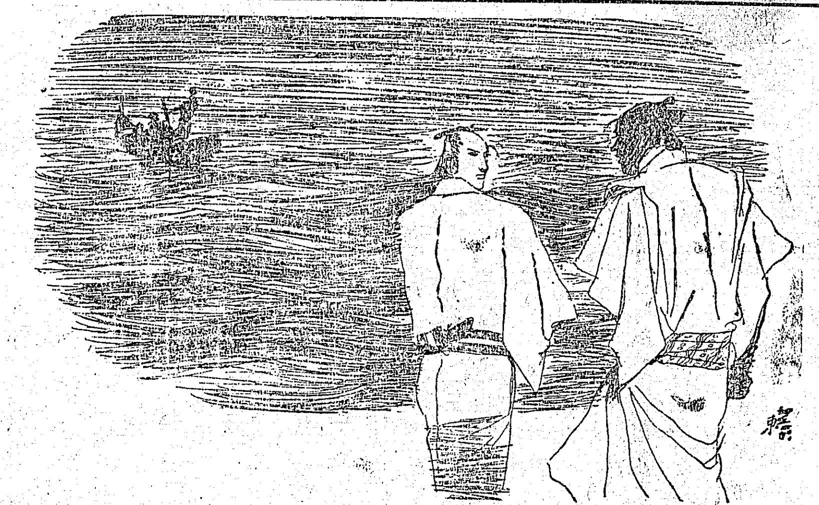
長吉がグイと棹をつッぱると、舟はそのまゝ音もなく、月明りの下田灣へ辷り出した。

見えなくなるまで勘太はのびあがつて見送つてゐたが、ひよいと横をふり向くと、

『おや、手前はさつきの水晶屋だな』

いつの間にか巳之助が立つてゐるのだ。勘太は憎々しげに、

『やい、水晶屋、ちつと顏をかしてくれ』



快適な筆觸
ウエル萬年筆
金貳圓より數十種
佐々木のガラスペン
一本金拾錢より
ガラスペン中の第一級品です、一度の御使用が永久の御愛用となる
事務用
平市學校坂下
代理店 魁文堂
電話三一三番

肉の御用命は
三二三屋
牛も豚も優良品の自慢
平・大國町電323番

內科 小兒科 外科 性病科
看護婦及び女中募集
院長全快診療に從事
高久病院
平市田町 電五一三
院長 高久忠
副院長 赤羽清
藥局長 佐竹菊雄

產科、婦人科
根本醫院
平市南町 電話三四番

新刊書籍
月刊雜誌
特價圖書販賣店
三英堂 村山書店
平市驛前中央通り

食事 喫茶 酒場
サロン
營業時間
〇開店…午前十時より
〇御飯は夜九時までに御願致します
〇閉店…午後十一時限り
平市銀座街 電話五九二番

口腔外科 齒科一般
小名濱町本町
鈴木齒科醫院
院長 鈴木正

除隊入營に
正しい軍服軍裝品の御用命は
將校用 乘馬ズボン
元陸軍御用達 砲工學校指定
平市田町丸新デパート內
菊地洋服店
電(呼)二十八番

內科 小兒科 物療科
◎入院隨時◎
四倉町本町（電六三）
菅波醫院
院長 菅波茂

割烹 はまや
小名濱公園內
電話百廿番

外科 內臟外科 肛門病科 皮膚泌尿科 生殖器科
看護婦及見習看護婦募集
白土醫院
平市鎌田町 電二七九

男女助手 徒弟募集
（委細面談）
理髮タイヨー
小名濱町登紀所前

外科 內藏整形科 內科 皮膚科 花柳病科
小名濱町仲町
石井醫院
電一八番

曳前の御知らせ
漁船家屋其他動產の移動
土木建築請負
鐵道船舶請負
仲仕請負
小名濱町榮町築港地內
北村芳藏
御希望の方は一應御相談下さい

小兒科 內科
◎入院隨時◎
平市南町（電五五番）
酒井醫院
醫學博士 酒井保

△入院隨時▽
エッキス光線科 外科 內臟外科
安齋醫院
院長 安齋徹
平市田町 電五四七

ガソリン キカイ油 石油 輕油
測量器 製圖器 マス ハカリ モノサシ
平石油共同配給所
關內正一商店
平市・電話16

外科 整形 胃腸 性病
內臟外科 腦脊髓病科 外科
整形外科 レントゲン科 理學療法科
內科 胃腸病科 肛門病科
花柳病科 皮膚科 泌尿器病科
醫學博士 松村亨
醫學得業士 松村鐵郎
松村醫院
平市南町 電一〇七

信濃善光寺 佐渡ケ島 團体募集
期日 昭和十六年八月十日（日）午前六時平驛發
會費 御一名樣金參拾八圓五十錢也（汽車賃、自動車、晝食、宿泊料ヲ含ム 宿泊所、新潟、佐渡長野（澁溫泉））
人員 五十名限り。〆切八月八日
注意…〆切ノ都合上御早ク御申込ヲ乞フ
主催 福島縣磐城旅行團
平支部事務所 田町一の井 電話一六七

鐵の代用品で鐵よりズツト性能が優れてゐる薪代が鐵製の半分で濟む木屑でも落葉でも御飯が炊けて毎日の燃料費が五錢も六錢も得をしておいしい御飯が炊ける
◎（主婦之友社生活館推奨）
資源愛護 燃料經濟 廢物利用
特許 久壽竈（クスカマド）
二升炊 六圓
三升炊 六圓五十錢
四升炊 八圓
平市一丁目
武田陶器店
電話三二九

高級林檎酒 ミユキ
釀造元 青森縣弘前市 株式會社 御幸商會
福島茨城販賣元 石井德重商店
久ノ濱町 電話三三番

巴式・長州風呂
風呂釜
平市紺屋町 電三六六番
大谷建材店

自動車助手車掌男女急募
求人者 野崎交通自動車株式會社
人員 助手五名 車掌十名
年令 十六才以上二十才未滿
希望者 履歴書持參左記ニ申込ノ事
平國民職業指導所
電五六二番

醫院開業（入院室完備）
內科 小兒科 專門
午前宅診 午後往診
醫學士 石坂銈
平市六丁目交番脇
石坂醫院

水道復舊進む
不自由も明朝解消か

平市上水道は屢報の如く水源地の被害を受け廿三日以來全市を斷水し、時間給水に依つて辛くも飲料水を給水してゐるが、貯水池の保有量も殘り尠なくなり復舊を急がぬと一朝火災などの際慘害を被る虞れあるため今廿六日中に應急處置を講じ明廿七日早朝から通水せしむべく工を急ぎ市土木課、水道課員總動員で作業を續けつゝあり

今朝七時平警防團消防部員六十余名も總出動、三井部長指揮の下に假樋の木箱運搬に從事、午後二時に至り更に警鐘を鳴らし全團員を招集 貯水場より約一里の山奥へ道無きを拓きつゝリレー式に運搬涙ぐましい努力を振つてゐる一方好間警防團員も應援に出動、大瀧江筋から貯水池へ通ずる水路を堀鑿しつゝあり、水源地の假箱樋と共に晝夜兼行で工を急ぎ明朝からは通水して市民に安心を與へられる模樣である

平監督所管內の損害
百萬圓を突破か
增產を重點に復舊を急ぐ

平土木監督所では目下水害復舊對策を計畫中だが管內流失橋梁、道路決潰は相當數に上り被害調査にはなほ十數日を要する見込みで現在の水害推定額は約百萬圓程度と見れ先づ食糧運搬に重點置き約一ヶ月位の豫定で假橋、假道路の架設に全力を擧げる方針であるが何せ湯本—石川線の如きは入遠野村地內御齊所峠以北の道路は後形ちもない程決潰し一里のうち僅かに六十間が交通出來る狀態にあり一日百人の工夫を動員しても假道路を設けるのに約三ヶ月間も要する被害でこの外三坂街道も同樣當分望み薄である、尙港灣は小名濱の六十萬圓を除く外江名四ツ倉等各漁港とも無事であつた

損障の護岸
四十萬圓で徹底的改修
小名濱漁組の計画

昨二十四日午後一時小名濱漁業組合に役員會を開催し役員全部出席今次の颱風で遭難した漁船に對する處置を協議、而して協議案として漁港改修案を審議したが結論には達せず散會、近く再役員會を招集し具体案を練る手筈である

漁港改修案の內容は漁業組合の實力で危險極まる港灣を改修しようと云ふ案で中防波堤百五十メータ延長、及び破損岸壁を屈曲的な理想工事に本腰を入れ町の暫定工費、萬五千圓も繰入れを町に交涉し總工費約四十萬圓を投じて改修したいと云ふ骨子で次回役員會は町民の關心を惹いてゐる

小名大敷網
損害四万圓

小名濱町大敷網は今次の時化で大損害を被つたが經營者高橋氏は、これに屈せず復舊工事に精進しつゝあり土俵三千俵網その他で約四萬圓の補給が必要とされてゐる

尙ほ小敷網經營者も復舊工事に大童の現狀である

罹災者救助
平市は調査を急ぐ

平市では水害後の對策について今廿六日課長會議を開き縣の罹災救濟要項と照し合せて對處すべく區內會を通じ浸水家屋調査、生活困難な罹災者の調査を急ぎ急速に善處することになつた 二十三日に應急處置した床上浸水家屋は二千九百四十九戸、炊出しは一萬四千三百名に上つてゐる

見舞五十圓
天理敎會の好意

平市古鍛冶町天理敎磐城平支部では水害見舞金として金五十圓を平市銃後奉公會へ寄附

八幡小路の防疫處置
ワクチン實施

平市第廿五區八幡小路區內會では、區長さんが渡邊醫師だけに衛生方面には特に注意を拂ひ風水害後の防疫處置として左の三項を實施した

1、井戸の消毒と下水の清掃

2、腸チブス豫防注射（約五百名全戸へ實施）

3、區內の小兒に對し疫痢內服ワクチン服用せしむ

°°°°商店演藝會

四倉後町の各商店では八月三日午後六時より四倉座に銃後報國慰安として漫歲、珍藝、浪曲等の一行を招き開演、商店から割引券を出すこととなつた、尙珍藝の王柳亭桃太郎、浪曲天中軒如雲師外一行は十五名で、前人氣を呼んでゐる

小名濱港
颱風被害
學生が奉仕作業

今次の颱風禍で小名濱海岸一帶は激浪に大破され大小炭石が海岸に散亂してゐるので廿四日小名濱校高等科、實科高女、實業生徒約八百名は受持先生引卒の下に出動勤勞奉仕で狼籍後の仕末に從事してゐるが三日間連續奉仕した

學務部長
今日四倉視察

本縣神內學務部長一行七名は濱通りの水害見舞ひのため今二十六日午後五時四倉町着同町柏屋旅館に一泊の上明二十七は平、小名濱、植田等各町村視察する

ラジオ体操
一日から實施

小名濱町では例年通り八月一日より二十日迄午前六時を期しラヂオ体操會を開催するが第一區は海洋青年校第一校第三區は第二校第四區は水素工場で擧行一般の參會を歡迎してゐる

蔬菜の挽回急務
榮養と保健の見地を考慮し
農試分場で注意喚起

洪水禍に依る畑作の被害は豫想以上に多い模樣で市場から蔬菜類が姿を消した爲各家庭の台所は恐慌を來してゐるが、野菜不足は榮養保健上にも大きい影響を及ぼすことになる爲縣農試分場では憂慮し各町村農會を督勵農村に對し『蔬菜の挽回策と補給を急げ』と警告を發したが『冠水した畑作物も早急な手入れで挽回する』と水害後の畑作について次の如く語る

一、浸水せる蔬菜畑は至急畑の周圍に深溝を堀り排水に努む

一、茄子、蕃茄、南瓜春播胡瓜、夏播胡瓜菜豆、枝豆等は根本の土砂を取り除き莖葉に附着せる土砂を噴霧器にて洗滌す。

倒伏せるものは支柱の立て直しをなす

畑地稍々乾燥後畦間を中耕し、速効性窒素質肥料の追肥を行ひ成育の恢復に努む

被害大なる茄子は各枝二葉を殘し剪除し南瓜は側枝を摘除し地上部の負擔を輕減し成育の恢復に努む

蕃茄、菜豆の冠水せるものは見込なきに付き拔き取り、又は春播胡瓜の收穫末期のものは取り除き秋冬蔬菜の播種又は栽植をなす

一、水害を被りたるものは天候恢復と共に病害發生の恐れ多きを以て成育稍々恢復後左記に依り藥劑撒布を行ふ

茄子　五斗式等量ボルドウ液

胡瓜　四斗式石灰半量リノー展着劑加用ボルドウ液

蕃茄　仝

菜豆、枝豆　四斗式等量ボルドウ液

一、被害激甚にして恢復の見込なきものは七月下旬より八月上旬に亘り美濃早生大根、聖護院大根、結球白菜等の秋蔬菜の播種又は、冬蔥の栽植を行ふ。

一、前記秋蔬菜の收穫迄での間、即ち八月九月に亘り蔬菜類の不足を次ぐるを以て至急發育迅速なる三寸人參、小蕪菁、二十日大根、体菜等を廣巾に播種し、順次間引き秋蔬菜出廻りまで之が供給をなす

赤痢收容
隔離者十一名

平市研町十二田邊一躬さん（三）はこの程發熱診斷した結果赤痢と決定したので今二十六日午後隔離したがこれで平市隔離病舍の入院患者は十一名である

鹽八千俵溶解
專賣局の損害二萬余圓

去る二十三日の大增水で新川が氾濫したため平專賣所は床上浸水三尺に達しこのため在庫食鹽、煙草も水害を被り殊に食鹽は最も甚しく九千俵在庫のうち八割五分までが流失、附近水田約二町步が枯滅する有樣で市農會でも對策を協議中である、

一方煙草は在庫六萬一千四百余圓のうち約七千圓が水びたしとなり中でも金鵄、はぎ、朝日が大部分を占めてをりこのため市內煙草配給は明二十七日に變更した

なほ食鹽の被害は一萬八千圓である

米倉の浸水
概して心配なし

去る二十三日の大水害で殊に鮫川、夏井川沿岸は米倉が水びたしとなり相當數の濡米が出來たので平穀物檢査所ではこの指導對策に萬全を期すべく係員が各地に出張、指導してゐる、濡米の乾燥法について△モミ殼を半々位に混合、日光に依る乾燥法△天候の關係では火力乾燥法の實施△發芽その他甚しいものは製粉または味噌の原料用とするなど注意してゐるが同所管內では流失米は一俵もなく濡米も殆んど程度に應じて前記方法により有効に對策してゐるため損害は概して豫想より輕少と見られてゐる、右に關して同所では語る

食料問題のやかましい時だけに愼重な態度で對處したいと思ひます、大體においてぬれ米は乾燥法に充分注意して指導してをりますから皆さんの想像する程のことはありません

煙草耕作
水害反別調査

平專賣所管內煙草耕作の水害は目下同所員が出張調査中だが鮫川、夏井川沿岸が最もひどく五割減收見込反別約十五町步に達しまた植田町、玉川村には相當の全滅個所がある

六號線改良
繼續事業費承認か

勿來…久の濱間六號國道改良工事促進運動に關し過般江邊知事を期成同盟會長に推薦內務省へ陳情すべく關係者一同今廿六日出縣し縣當局と打合せた上京する豫定の處磐越線不通の關係から出縣を見合せて廿八日勿來、植田、渡邊、平市、神谷、湯本、草野、四倉、久の濱、沿線市町村に小名濱、泉兩町村長も加つて上京明年度の政府豫算編成期を前に實情を訴へ猛運動を行ふことになつた

內務省土木局は重要產業沿線として六號國道の改良を豫認し繼續事業費として五百萬圓計上したとの說あり多少削減を免れないとして明年度豫算には必ず反映されるものと大きい期待をかけられてゐる

漂流物
七日內に屆出よ

平市では今次の大洪水で木材その他の漂流物拾得者に對し水難救護法により七日以內に所有者へ引渡すことを規定されてゐるため該當者は直ちに市町村役場に屆出るやう注意したが違反者は處罰されることになつてゐる

營業者檢診
四倉の成績良好

四倉警察署では昨二十五日午前十時より管內二町四ヶ村の飲食營業者外各營業關係者二百余名に對し結核豫防健康診斷を行なつたが成績良好であつた

四倉詩吟會
今廿六日開く

四倉町商業報國青年隊では青年立志鍛錬の爲に毎土曜日を期し詩吟會を開いてゐるが今二十六日は大野村第一校長鈴木謙四郎氏を迎ひ午後七時より本町青年會館に詩吟會を開く 目下詩吟會員は三十餘名で一般希望者の參加を歡迎すると

水害見舞金
社會課へ十五圓

石城佛敎同志會の遠藤心光さんは今廿六日平市社會課へ水害見舞金として十五圓寄附した

擧動不審で
詐欺犯檢擧さる

耶麻郡吾妻村大字千貫八四郎さん長男坂內八郎（三三）は今月九日ごろ家庭不和のため無斷家出し猪苗代町附近を徘徊中、同町四谷木炭商相原次郎さん方に至り『明後日木炭百二十俵を送り屆ける……』と稱して內金名儀で二百五十圓を詐取、湯本町方面に流れ込み同町地內を徘徊中二十五日菊地、笠原兩刑事に檢擧された

市役所異動
山岸氏勸業主任

平市役所元勸業主任松田賢雄氏の死去に伴ふ同主任の後任は敎務課主任山岸淸水氏が兼任することになつた、尙ほ敎務課へ書記補酒井英夫氏が新任した

仙台迄開通
常磐線全通近し

常磐線下り線の不通個所亘理—岩沼間は今朝五時半に至り阿武隈川鐵橋復舊し開通、このため牛久—仙台間が今朝から運轉した

水魔の犧牲
行方不明尙五名

植田町の水害犧牲者二十五名の內今廿六日朝山本金一妻スエさん（三八）田人村由山恒明長女ヨシさん（七）三男軍一（五）の三死体發見された、尙不明中のものは左の五名となつた 植田町番所下古物商山本金一（五〇）同次男政男（七）同四男明男（一）小野三郎（三〇）同三女チヨ子（四）

山崎錦刀自
供養の團体寄附

平市紺屋町山崎錦刀自は八十八才の高齡で廿三日午後十時二十分死去した、葬儀は明廿七日午前十時自宅に於て告別式を行ない、途中行列を發し同午後一時性源寺に於て葬儀を執行する

同錦刀自は鹽谷の當主山崎與三郎氏の生母で、孫定治郎さんは祖母供養のため今廿六日市銃後會百圓社會事業助成會百圓愛婦分會五十圓寄附した

平市慶弔錄

【出生】△平市字八幡小路七十九番地村岡安次郎三女茂子さん △平市字新川町二十三番地白土朝次郎三女智子さん

【死亡】平市字紺屋町三十二番地手塚春一郎さん

天氣豫報

今晩　北東の風曇り勝の天氣です

明日　北東の風一時晴れますが又曇ります

（二十七日）滿潮 前五、一五 後六、〇五　干潮 前〇、五〇 後〇、一三

藝能文化祭

空前の豪華版
愈明夜公會堂に公開
銃後を慰問

磐城文化協會が長期戰下に緊張し切つてゐる銃後へ、潤ひのある憩ひと、明日への活動素を提供するため、地方藝能の粹を集めて準備を進めてゐた『藝能文化祭』は愈々明廿七日午後五時から華々しく平市公會堂に開演する、銃後への贈り物として意義あらしむべく戰死者御遺族並に傷痍軍人の方々を招待して敬意を表し、併せて產業戰士を慰問する地方空前の催しで出演團体は何れも二旬に亘つて眞劍に稽古をはげみ明夜の熱演こそ期待すべきものがある。

健全娛樂を贈る

舞踊『橋辨慶』
花柳一門必生の妙演技

花柳一門は文字通り藝能祭を代表する呼物でそれだけ登代藏師匠の責任も重く、小道具準備のため上京中風水害に遭つて足止めされてゐたが明夜の出演を前に居たまれず、大荷物を背負ひ込みながら途中徒步連絡の難を冒し廿五日夜辛ふじて歸平した程の熱心さ、氣を揉んでゐた文協側もホツト安心した

第一部へ新たに加へられた『瑞穗踊り』は農山村の健全な娛樂として東日社が懸賞募集し農林省が選定した大衆的な踊りでレコードを用ず花柳師匠が特に三味線を編曲して太鼓鳴物入りで賑やかに踊らせる處に苦心の跡が窺はれ、田植唄と共に可憐な少女連廿數名で踊る

……◇……

杵屋十茂代一門の長唄『越後獅子』『菖蒲浴衣』は三紘、唄とも杵屋一門錬達の人々に依つて長唄の眞價を聽くことが出來やう

……◇……

最後を飾る舞踊『橋辨慶』は登代藏師が藝能祭のために始めて公開する妙演技で小道具類も特に吟味され『立方』地方の調子も揃ひ絢爛な樂技が繰り展げられる

三曲の調べ
野喜久會、靜久會

日本傳來の古典的な音樂三曲合奏に推薦された『野喜久會』は遠藤佐喜野さんと『靜久會』小野靜堂氏の名コンビから成り、靜久會の南波氏大陸へ移轉してメンバーに異動などもあつたが第一部『三ツの景色』第二部『松風』の名曲は滿堂を恍惚たらしめる魅力がある

第一部の琴曲は可愛い少女連が彈き、第二部は綺羅を飾る娘さん達の彈奏で小野師一門の箏曲と共に見逃せないところだ

產業團代表
片倉バンド

片倉バンドは今春二月絲姬を交いた從業員で編成以來、音樂學校敎授を招聘熱心な練習の結果僅か五ケ月足らずで著しい進境を示し過般產報の市內行進の際など街頭行進して異彩を博してゐる、今回は出演推薦の遲れたのに加へ洪水禍に遭つて全工場浸水し練習不足に拘らず片倉青年校の金澤校長や特別指揮に當る增田文協委員などの指導を受け、產業團体唯一のブラスバンドとして序曲の演奏に期待かけられてゐる

『君ケ代行進曲』は都合に依つて『國民進軍歌』に變更、『產業報國歌』には絲姬數十名の合唱も計畫されてゐる

地方の先覺
マンドリン樂團

磐城マンドリン合奏團は舊姓山川で知られてゐる入山炭礦病院の山本忠夫氏が主宰し、四五年前には數回平市に演奏會を開いた當地方では最も古い樂團で一時中絕してゐたが文協の藝能祭が發表されるや再びバンドを編成したものである、山川指揮者のタクトは流石に貫錄を見せ堂々たる地方代表樂團の風丰を備へ、晴れの舞台を前に熱心な練習を續け、BMの指揮者松江氏もメンバー加はり合奏團を生まれてゐる

輕妙な樂
街頭進出の試練

輕音樂のBM研究所は音樂學校出身の松江光城氏の指導を受けてゐるだけに吹奏樂のやうな華やかさはないが、演奏にも特殊な雰圍氣を漂はせ、未完成ながら獨唱する歌手にも潑剌とした新鮮味があり誕生間もないBM研究所にとつては大きい試練であらう、大ホールで輕音樂を生かして行かふとする處に松江氏の並々ならぬ苦心が窺はれる

犧牲的出演
潮響樂團も參加

潮響吹奏樂團は磯原町の醫師瀧五郎氏を中心に好樂の中年者を以つて組織され日立樂園の主要メンバーも加つて先進の茨城縣下でも權威ある樂團だ、指揮に當る文協增田委員の線故關係で特に招聘したことは、今回の藝能祭に一段と光彩を放ち、地方音樂の普及に大きい貢獻を齎らすことゝ思ふ

片倉バンドの指導に遠路數回來演され連鎖をつけたことなども藝能祭の齎らした大きい收穫で潮響樂團の犧牲的出演には文協側も感激してる

迷ふな流言
漏すな機密
防諜標語

おちのよい
マルミ粉石鹼
平市本町
製造元マルミ[illegible]

洋服裁縫
女子見習10名募集
通勤ヲ可トス
平三電418　佐川洋服店

商況
（二十五日）

【野菜】小賣値百匁

キウリ	九
ナス	八
馬鈴薯	五
トマト	七
南瓜	八

年令……十七才ヨリ三十才位迄
給料……三十圓、外にも收入あり
被服……不用、上着貸します

高級食堂

女給仕さん至急求む

希望者は至急本社へ御照會下さい
未經驗者も可
【電話六一二番にてもよろしい】

姓名在社

急告
櫻丘會總會延期

櫻丘會總會は廿七日開會する豫定の處會員中多數水害を被りし方がありますので延期致します

磐城高等女學校
櫻丘會會長　齊藤榮一

會員各位

會友へ告ぐ

廿七日開催する本會主催の「藝能文化祭」に會友の方は無料入場出來ますから會友券をお忘れ無いやう御持參願ひます

磐城文化協會